



IMGU エムアイカード支部 ニュースフラッシュ



今回は「2024年6月賞与要求」についてお伝えします。

2024年6月賞与は、VOICEでもご説明した通り2023年度の業績およびメンバーの頑張りに報いるという理由から、人事制度上の「賞与支給表」に加えて「加算金」の要求と、賞与制度のない雇用形態（スペシャリティスタッフ・マイスタッフ・エルダースタッフ）に対しても「一時金」の要求を行うこととしました。

賞与加算金および一時金は、組合としてこれまで過去に要求したことはなく、対象者や水準などについては支部執行部内で慎重に協議を重ねました。

4/25～5/3には全メンバーを対象としたメンバーズVOICEを開催、formsアンケートの回答率が約93%と多くの皆さんにご参加いただきました。改めて御礼申し上げます。

回答結果

1) 資格別回答率（休職者等 回答が不可能なメンバーは除く）

資格	在籍人数	回答人数	回答率
ステージB	65	58	89.2%
ステージCs	142	125	88.0%
ステージCt	24	20	83.3%
ステージCa	252	225	89.2%
エルダー社員	19	16	84.2%
SS	8	7	87.5%
マイスタッフI・II	51	46	90.2%
EスタッフI・II	19	18	94.7%
合計	556	515	92.6%

過去最高

回答詳細

1) 24年度6月賞与要求にあたっての組合の考え方(議案書記載)について

①～③を選択	回答数	比率
① 理解し納得できた	448	86.9%
② 理解はしたが、納得できなかった	55	10.8%
③ 理解ができなかった	12	2.3%

VOICEの意見を踏まえ、5月6日（月）に支部大会を開催、メンバーの代表である支部大会代議員（支部評議員）による審議が行われました。

【支部大会】 満場一致で**可決**



上記の支部大会の審議を受けて5月20日(月)に労使協議会を開催し、組合より「2024年度6月賞与要求」を行い、その場で会社より回答をいただきました。



2023年度賞与要求 妥結にあたり(メンバーへのメッセージ)

三越伊勢丹グループ労働組合 エムアイカード支部執行委員長 益田直哉



今回は組合として初めての加算要求・一時金要求となり、メンバーズ VOICE の参加・回答率も過去最高という結果となりました。水準ももちろんですが、メンバーの皆さんからは組織で成果を出すことの充足感や賞与制度のないメンバーへの一時金支給による一体感醸成について納得度が高い声が多くありました。

直近のHDSのIRでの説明を聞くと、今後グループの戦略を実現するうえでエムアイカードは非常に重要な位置付けであることがよく分かります。また百貨店のシェアード会社ではなく、グループで集めたお客さまから利益を出していくこと、そのために毎年新しい商品・サービス提案を行っていくことが課せられている中で社員一人ひとりがグループ全体の方向性をよく理解してお客さまやお取引先起点で業務に取り組む、勉強することが大事だと思っています。そのような中で、組合としては会社の方針や戦略に対するメンバーの認識とのギャップを正確に把握するパイプ役として機能していきたいと思っています。

最後に、今後大きな目標に向かっていく上で人材確保と生産性向上は大きなテーマだと思います。まず足元で出来ることとして昨年労使共同宣言で掲げているハラスメントの撲滅と適正な労働時間管理について引き続き労使協業で取り組みをさせていただきたいと考えています。引き続きよろしく願い致します。

株式会社エムアイカード 代表取締役社長 梅田貴生



昨年度の予算案は非常に厳しいものでしたが、全社一丸となって収支構造改革に取り組みビハインドを乗り越え予算を達成することができ、難局を乗り切ったことは当社にとって重要な成功体験となりました。

聖域なき構造改革を進める中、得られるものが何なのか、時に不安や戸惑いを持たれる場面もあったかと思っています。それでも経営からのメッセージを信用いただき、何より皆さんの尽力の結果が今回の賞与加算に繋がったと考えています。

来年度から新中期計画に入っていきますが、100億という大きな目標に向かうため23年度の経験値が今後の「貯金」となって走ることができます。24年度も現2ヶ年計画の最終年度として「貯金」を更に積み増せるよう走り切りたいと考えており、そのためのコミュニケーションも大事にしていきたいと思っています。

組合とは会社を良くしたいという共通のテーマを常に意識しながら、今後も双方で協力して進んでいきたい、引き続きよろしく願い致します。